

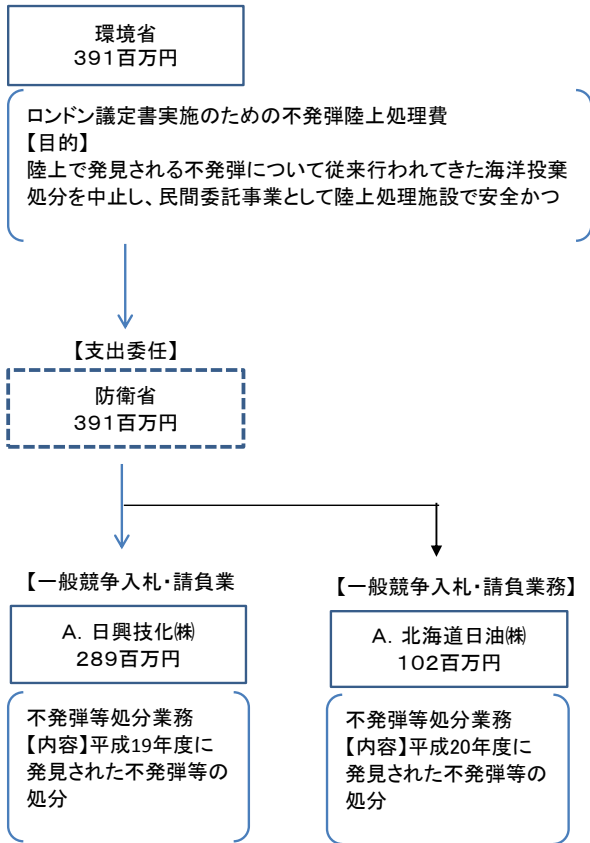
平成23年政事業レビューシート

(環境省)

<b>事業名</b>		ロンドン議定書実施のための不発弾陸上処理事業		担当部局庁	水・大気環境局		作成責任者		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>		平成19年度		担当課室	水環境局海洋環境室		水環境課海洋環境室長		
<b>会計区分</b>		一般会計		施策名	3-3 水環境の保全 (海洋環境の保全を含む)				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>		-		関係する計画、通知等	-				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>		陸上で発見される不発弾について従来行われてきた海洋投棄処分を中止し、民間委託事業として陸上処理施設で安全かつ確実に処理させることにより、我が国周辺の海洋環境の保全に寄与する。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>		平成20年度に発見され、陸上自衛隊が安全化措置を実施した不発弾(約19トン)について、平成23年度末までに、民間事業者処理させるものである。 また、受託業者による不発弾の処理等が適切に実施されるよう陸上自衛官が所要の指導監督を行う。 なお、この不発弾の処理に当たっては、受託業者が不発弾の処理に必要な施設の整備から行わなければならない、処理が完了するまでに長期間(3年以上)を要することから、4年の国庫債務負担行為として事業を行っている。							
<b>実施方法</b>		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>				20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		予算の状況	当初予算	105	222	394	644	1,139	
			補正予算						
			繰越し等						
		計	105	222	394	644	1,139		
		執行額	8	222	394				
執行率(%)	8%	100%	100%						
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>		成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)	
		陸上において処理された不発弾の量(実績)		成果実績	t	19	25	42	
				達成度	%				
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>		活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
		不発弾の処理量は、陸上での発見量に比例するため、指標を示すのは困難である。		活動実績(当初見込み)				( ) ( )	
<b>単位当たりコスト</b>		(24,200千円/1t)		算出根拠	平成22年度契約実績				
平成23・24年度予算内訳	<b>費目</b>		23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	不発弾処理業務庁費		642	1,137	・平成21年度に民間業者に処理委託した不発弾(約25トン)のうち、砲弾、艦砲弾及び手りゅう弾等の処理に要する経費				
	職員旅費		2	2					
計		644	1,139						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・用途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>過去の実績を参考とし、引き続き競争性のある契約を実施し、事業の進捗状況を随時把握すると共に、効率的に事業が行えるよう仕様書の検討。見直しを行い、より効率・効果的な予算執行を行う。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>不発弾処理の重要性を鑑み、現状を認める。引き続き効率的な予算執行に努めること。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

※その他防衛省職員のための旅費 2.3百万円

A.日興技化株式会社			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
不発弾廃棄 処理業務庁 費	契約相手方 日興技化(株)への部分 払い	289			
不発弾廃棄 処理業務庁 費	契約相手方 北海道日油(株)への部 分払い	102			
計		391	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロッ  
 クごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入 札 者 数	落 札 率
1	日興技化株式会社	契約相手方 日興技化㈱への最終払い	289	3	39.6
2	北海道日油株式会社	契約相手方 北海道日油(株)への部分払い	102	2	62.1
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					